令和８年度　第１回嘉麻市の国民健康保険事業の運営に関する協議会　会議録

１．審議会等の名称　　令和８年度　第１回嘉麻市の国民健康保険事業の運営に関する協議会
２．開催日時　　令和８年１０月２９日（木）１４時～１５時１０分
３．開催場所　　嘉麻市稲築保健センター　１階多目的室
４．公開又は非公開　　公開
５．非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
６．出席者等
（１）委員
【被保険者を代表する委員】　吉田　友子　松熊　聖子　大野　美智子
【保険医又は保健薬剤師を代表する委員】西野　豊彦　　藤木　健弘　　石﨑　慶太
【公益を代表する委員】中村　恒行　　藤　伸一　　豊田　一元
（２）執行機関
市民課　課長　堀田　晶　　課長補佐　廣田　真理
健康課　係長　新原　直子（保健師）　主査　髙岩　麻記（保健師）
税務課　課長　小山田　弘志
７．傍聴人数（会議を公開した場合のみ）　　なし
８．議題及び審議の主な内容
【次　第】
１　開　会
２　諮　問
※佐伯市長から、藤会長あて別添諮問書を交付
３　議　題
（１）　嘉麻市国保の現状と課題について（資料１）
事務局より、資料１　P1～7 に基づき説明
・医療保険制度の概要
・国民健康保険制度を取り巻く現状
・嘉麻市国保の現状
・国が目指す「県内国民健康保険料（税）水準統一」への動き（福岡県）
・嘉麻市国保の課題
〔主な質疑及び意見等〕
【委　員】　国保税の収納率について、93%台で推移した時期もあったが、令和 7 年度実績は現年度分 90%、滞納繰越分も低下している現状である。このことについてどのように分析し、手立てを行っていくか。
【事務局】　近年の収納率低下については、比較的安定して納付いただいていた高齢者層の、後期高齢者医療制度への移行によって比較的担税力が低い被保険者が占める割合が高くなっていることが側面としてあるが、徴税対策の効果が上がって

いないとの認識を持つところである。現年度分に優先して充てることを徴収の方針としており、このことも滞納繰越分の収納率低下に影響している。今後は、滞納繰越となる以前に、収納対策を強化することに注力していきたい。

【委　員】　滞納者への具体的な対策、取組みについて伺いたい。

【事務局】　財産調査を実施し、有れば差押さえを行う滞納処分を中心として行っており、滞納繰越前、早めの取組みにより徴収率向上に努めたい。

【委　員】　保険税水準の県内統一に向けては、各市町村の保険税額に高低差がある現状、完全統一後に保険税額が上がる市町村も多いのではと思われ、課題となるであろうと考える。今後どのように取り組んでいくか。

【事務局】　当市の保険税額は、令和6年度実績では県内29市のうち27番目と低く、県全体でも平均より低い位置にあるとの認識である。完全統一後はかなり上昇すると推測され、急激な増税は、被保険者に過度な負担を与えることから、毎年度県から示される標準保険税率に基づいた税率の検討を行いつつ、完全統一に向けて段階的な税率改正となるような提案をさせていただき、今後協議をいただきたいと考えている。

【委　員】　（保険税滞納に関し）働き方が多様化（単発のバイト等）する中にあって、若い人の中には健康であれば保険税は支払わなくてよい、といった考えがあるのではと感じる。納付しなければならない、という啓発を強化することが大変重要であると考えるし、努めてほしい。

【委　員】　（保険税滞納に関し）昨今の国の給付金施策は、対象者に広くいきわたっているものか。被保険者減少の現状の中、単身の被保険者が多いと推測でき、空き家問題とも関連性が高いのではないかと考える。リバースモーゲージ等の活用で生活の安定を図りつつ、空き家問題も解決に向かっていけばよいが。

【事務局】　国の給付金施策について、市の所管課はすべての対象者に給付されるよう尽力していると把握している。空き家の課題について、市は危険家屋への対策を実施している現状である。

（2） 令和7年度国民健康保険事業特別会計決算について

事務局より、資料1　P8～10に基づき説明

・国民健康保険財政の仕組み

・令和7年度嘉麻市国民健康保険事業特別会計決算　・収支のイメージ

〔主な質疑及び意見等〕

なし

（3） 令和９年度子ども・子育て支援金率について

事務局より、資料１　P11 に基づき説明

〔主な質疑及び意見等〕

なし

・令和 9 年度嘉麻市国保の子ども・子育て支援金率の設定にあたっては、令和 8 年度同様、県が算定した標準保険税率を参酌のうえ、次回（令和 9 年 1 月開催予定）の本協議会に提案し、協議いただくこととなった。

（4） 嘉麻市国保の保健事業について

事務局より、資料２に基づき説明

・第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）について（目標・進捗状況等）

・計画推進のための取組について

・これからの展開について

〔主な質疑及び意見等〕

【委　員】　国保の総医療費は減少傾向、一人当たり医療費は増加傾向である要因として高齢化があるが、新生物の占める割合が増加したことも大きいと考えてよいか。

【事務局】　調剤費が高いことも影響していると把握しており、その詳細は、中間評価においてお示ししたい。

（5） 今後のスケジュールについて

事務局より、資料１　P12 に基づき説明

〔主な質疑及び意見等〕

特になし

（6） その他

委員、事務局とも案件はなし

４　閉　会

９．配付資料

・次第

・委員名簿

・資料１　嘉麻市国保の現状と課題　他

・資料２　嘉麻市国保の保健事業